

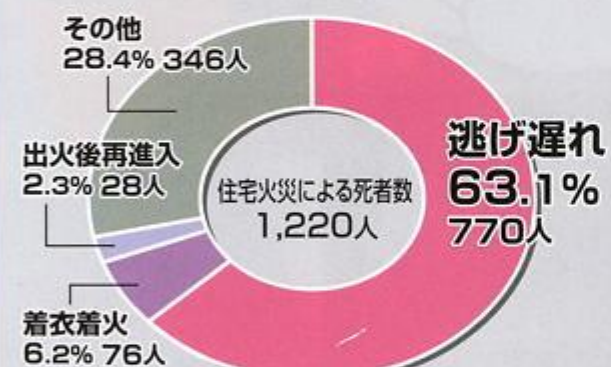
住宅用火災警報器を設置しましょう!

住宅用火災警報器が煙や熱を感知して、
警報音や音声で火災発生を知らせます。

住宅火災の実態

「逃げ遅れ」により
多くの方が亡くなっています!

住宅火災で死に至った原因



(消防庁調べ:平成17年中/放火自殺者等を除く)

設置による効果

住宅用火災警報器等の設置により
3分の1程度に減少しています!

住宅用火災警報器等の設置の有無で見た
住宅火災100件当たりの死者数



(消防庁調べ:平成17年中/放火自殺者等を除く)

設置する場所

子供部屋や高齢者の居室など、
就寝に使われている部屋には取付けましょう。

●寝室・階段への取付けは義務付けられています。

●台所・居室への取付けもおすすめします。※市町村の火災予防条例で取付けが義務付けられている場合があります。



※市町村の火災予防条例によって義務設置場所、設置時期が異なることがありますので、最寄りの消防本部、消防署に確認しましょう。

事例1 寝たばこから火災発生!



寝たばこにより火災が発生し、**警報器が煙を感知**しました。警報音で本人が目を覚まし、ふとんに水を掛けて消火したので、大事に至りませんでした。

事例2 天ぷら油が燃え出して!



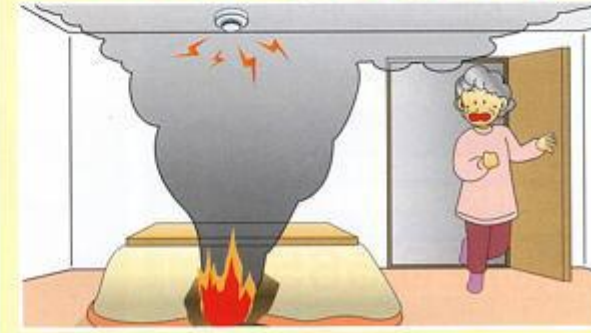
天ぷら油を加熱したまま、その場を離れたため、鍋から火が上がり**警報器がその煙を感知**しました。警報音に気付いた居住者が、初期消火と119番通報を行いました。

事例3 仏壇の灯明が燃え移って!



2階居室で就寝していた男性は、1階にある祖母の部屋の**警報器の鳴動に気付き**、1階におりると仏壇から炎が上がっているのを発見。水道水を掛けて消火しました。

事例4 こたつが燃え出して!



入浴準備中、煙と焦げ臭い臭気とともに**警報器の鳴動に気付き**、居室に行くところから炎が上がっていました。すぐに初期消火をしました。

※掲載の事例は実際にあった事例をまとめたものです。